

株主通信

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を支えています。

第54期 事業のご報告
2017年4月1日～2018年3月31日

NEW



国土交通省による
新技術情報提供システム(NETIS)に
登録された「e-シート」

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
一人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。



「一般社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業
プログラム『倫理17000』の
第1号に認定

サンコーテクノグループ

S.T.G VISION 2020

ファスニング

私たちは **独自の締結システム**で、
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…

お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“**SANKO** ブランド=人”を実現します

お取引先様へ…

共育・共創・共生を
キーワードに共鳴し合える
関係を構築します

社会へ…

事業を通じて、安心して
暮らせる豊かな
環境づくりに貢献します

株主様へ…

持続的な利益創出と
株主還元により企業価値の
向上を図ります

社員へ…

自身の成長とチームの
達成感(喜び)を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

SDGsへの取組み

当社グループは、SDGs(持続可能な開発目標)についても、
様々なステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

FLAGSHIP

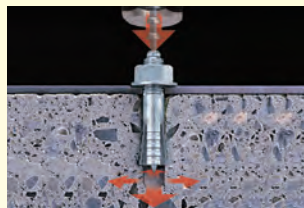
「あと施工アンカー」とは？

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。

当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。



釘



「あと施工アンカー」

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております



自動販売機の固定に



フェンスの取付けに



ジェットファンの取付けに



太陽光パネルの架台取付けに

ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社の2018年3月期(2017年4月1日～2018年3月31日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。



代表取締役社長

洞下英人

長期安定成長と持続的な価値創造に向けた改革に邁進しております。

1. 2018年3月期の連結業績と配当につきまして

当社グループの中期経営計画3年目でありました2018年3月期は、各種設備工事やインフラ・土木関連の堅調な需要を背景に、金属系あと施工アンカーが伸長したほか、接着系あと施工アンカーも底入れし、土木関連を中心に完成工事高が大幅に増加しました。その結果、売上高は前連結会計年度比5.3%増の16,326百万円、営業利益は同3.1%増の1,159百万円となり、概ね期初計画通りの業績となったほか、当社グループとして3期ぶりの増収増益となりました。

これを受けて、1株当たりの期末配当金につきましては期初計画通り、前期に比べて2円増配の22円とさせていただきます。当社グループは今後も、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。



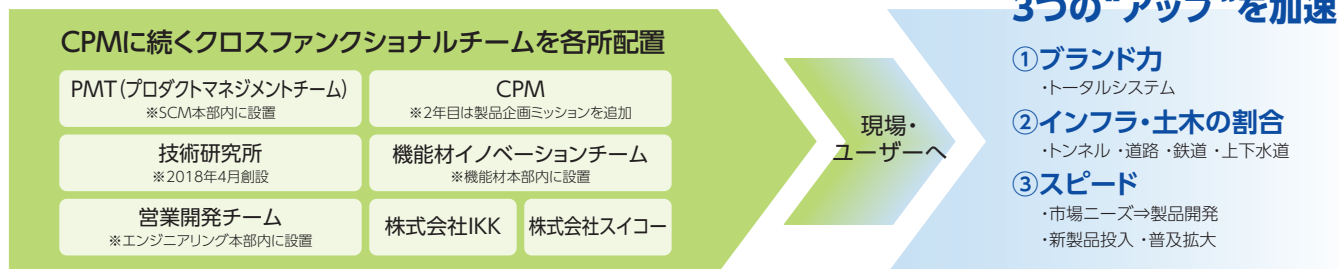
2. 事業環境認識

各種設備工事やインフラ・土木関連需要は今後も更なる拡大が見込まれているほか、足元では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた需要も顕在化し始めております。加えて、太陽光関連市場の特需による反動減の影響からも明確に脱することができたことから、当社グループは、2020年までの中期戦略目標である「外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制の構築」へ

向けた改革に邁進してまいります。

中期経営計画の4年目となる2019年3月期は、着実に結実し始めている営業改革を更に進展させる一方、足元で顕著になっている輸送費や原材料費の上昇等の影響に対しては、自助努力による効率化やコスト削減等をベースに、外部環境に応じて一部製品価格への転嫁等も含め、柔軟に対応してまいります。

●効果を出し始めている営業改革“CPM(クロスプロジェクトマネジメント)”



3. 中期経営計画4年目の重点施策

まずは収益の柱であるファスニング事業において、更なる営業改革と開発改革を推進してまいります。首都圏の大規模ユーザー向けの営業強化策として前期に創設した「CPM(クロスプロジェクトマネジメント)」の活動により、大手ユーザーやその地方拠点への当社ブランドの浸透が進み収益が拡大したほか、関連工事を通じて工法開発

に関する情報も入手できるなど、多くの効果を得ることができました。そこで、今期はCPM担当人員を倍増したことに加え、全ての本部内に開発部隊(クロスファンクショナルチーム)を配備し、現場のニーズを迅速に製品開発や改良へ反映できる体制としました。こうした新たな取組みと、従来からの「現場力アップ」の取組みの両輪により、

「川上」「川下」双方での営業改革に注力してまいります。更に、CPMの活動を通じて得られた大型の開発テーマについては、今期4月に創設した技術研究所が集中的かつ中長期的に対応することで、ファスニング事業の持続的成長を盤石なものにしてまいります。

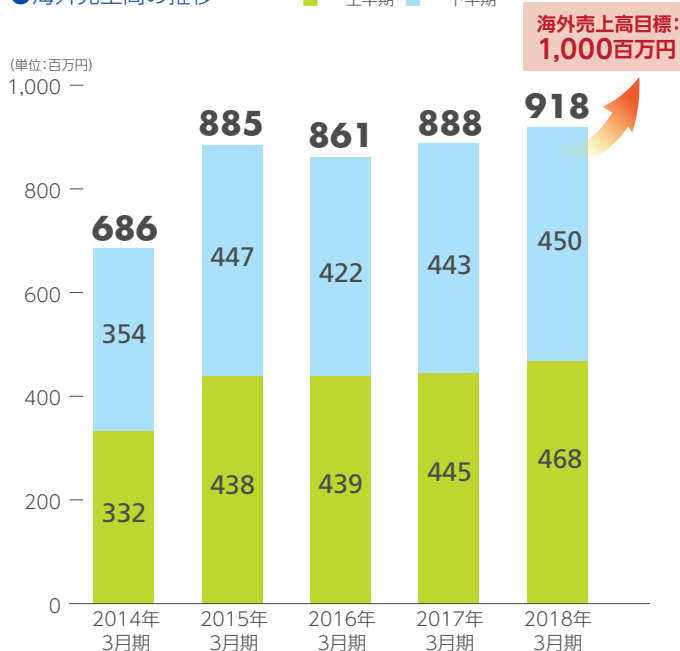
機能材事業については、当社グループの新たな収益の柱とするべく、選択と集中による事業ポートフォリオ改革に注力しております。注力分野として定めているアルコール検知器は2018年3月期も前連結会計年度比19.7%増と好調に推移しており、当セグメントの成長ドライバーとして、今後も徹底的に強化してまいります。具体的には、従来の物流分野に加え、バス・タクシー・鉄道分野での拡販に取り組むほか、大手メーカーとの協業により、部品の共通化等によるスケールメリットも追求してまいります。また、アルコール検知器と安全機器をネットワーク連携させることで、当社創業以来のビジョンである「安全・安心・環境」という価値をITによって提供するという新たな取り組みも開始しております。将来的にはこうしたIoT戦略を建築・土木分野でも展開していくことで、当社グループの新たな成長局面を切り開いてまいります。

海外事業については、2018年3月期の売上高は当面の目標である10億円にわずかに届きませんでした。2019年3月期はアジア、欧州の堅調な需要を着実に取り込み、北米での販売も強化することで、確実な達成を目指してまいります。

これら直接部門での取り組みに加え、間接部門においても改革を進めております。管理部門や物流・購買部門では、

従来の「5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)改善活動」に新たに「シンプル・スピード・シナジー」というキーワードを加え、従業員が短時間で最大の価値創造を行うための改革に注力しております。これらは当社グループの事業活動を通じた「安全・安心・環境」の価値創造や、ESG/SDGsへの取組みの根幹を成すものであり、上記の一連の改革が、当社グループの2020年までの売上高成長率5.0%以上(年平均)という目標と、長期安定成長を通じた持続的な企業価値向上の実現に大きく寄与することを確信しております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●海外売上高の推移



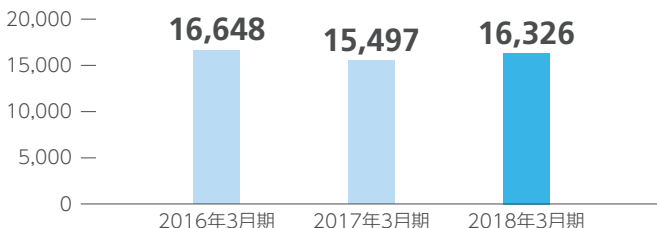
HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

2018年3月期は、都市再開発や東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心に民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きがみられた一方、資材価格や労務費高騰等による影響が一部顕在化するなか、中期経営計画3年目の重点施策として、営業改革の推進や事業ポートフォリオの強化を進めた結果、売上高は16,326百万円(前連結会計年度比5.3%増)、営業利益1,159百万円(同3.1%増)、経常利益1,162百万円(同3.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は796百万円(同0.7%増)となりました。

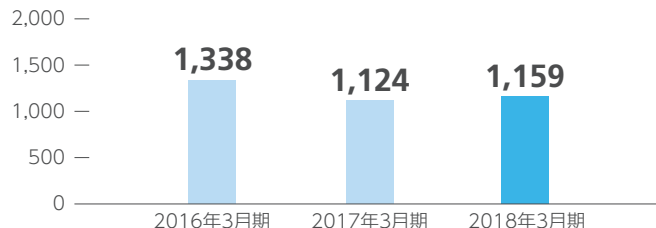
売上高

(単位:百万円)



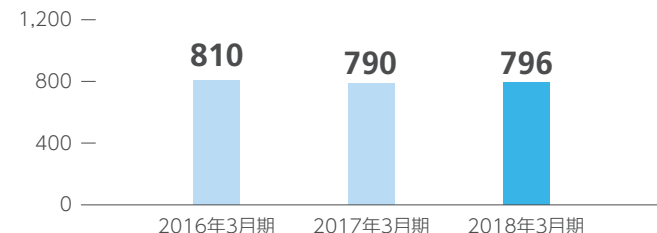
営業利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)

■ 総資産 ■ 純資産
● 自己資本比率



ROE

(単位:%)



2019年3月期通期業績予想

売上高	16,800百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	1,210百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	835百万円

製品情報

国土交通省・新技術情報提供システム (NETIS) に登録

● テクノテスター

施工現場でアンカーボルトの締結を確認するための試験機「テクノテスターAT、RTシリーズ」が、引張荷重の一体型試験測定システムとしてNETISに登録(2017年4月)



● e-シート

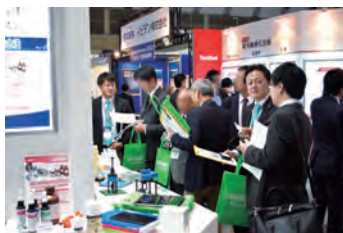
紫外線硬化型FRPシート「e-シート」が、歩道橋等の鉄板部補強工法としてNETISに登録(2018年1月)



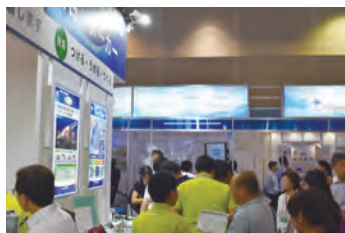
展示会

加工機械・材料の総合展「接着・接合EXPO」に出展

紫外線硬化型FRPシート「e-シートフイック」をはじめ、ワンサイドファスナー、薄鋼板締結用ファスナー等を出展



東京ビッグサイト(2017年4月)

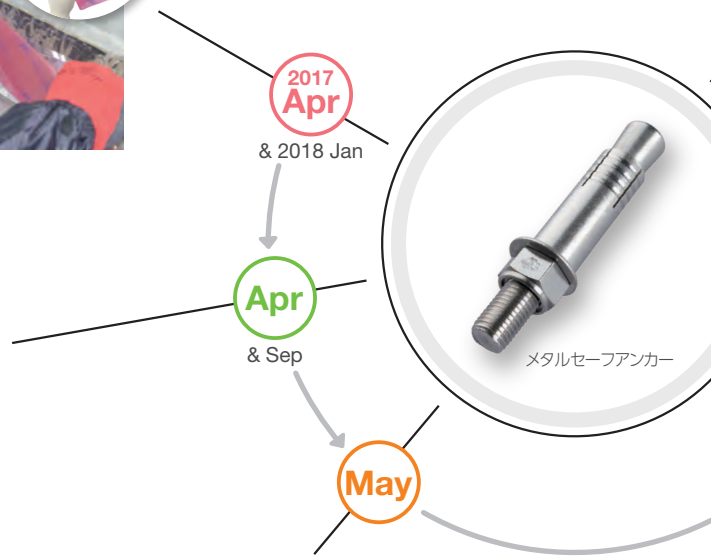


インテックス大阪(2017年9月)

拠点

新ものづくりテクニカルセンター完成

経営資源の集約や業務の効率化・拡大を目的として、流山事業所の管理部門と機能材本部、株式会社スイコー(営業・資材部門)を集約





2018
Jan



さいたまスーパーアリーナ

展示会

国内最大級のビジネスマッチングイベント「彩の国ビジネスアリーナ2018」に出展

機能材本部、株式会社スイコーが共同出展。e-シートクイックや高性能ウレタン系接着剤「オートグリップ」をはじめ、アルコール検知器等を展示

Nov

展示会

高速道路を支える最先端技術「ハイウェイテクノフェア2017」、安全・安心・快適・環境・省エネを追求「第5回鉄道技術展2017」に出展

ゆるみ止め機能付きナットを付属したメタルセーフアンカーをはじめ、無機系注入方式カートリッジ型のサイズミックエコフィラー等、土木分野での補修・補強、設備関連商材を展示



ハイウェイテクノフェア(東京ビッグサイト)



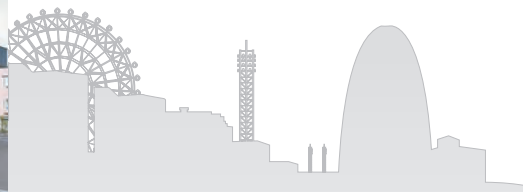
鉄道技術展(幕張メッセ)

Nov

拠点

新札幌支店完成

更なる業務の拡大・効率化を図るため、札幌支店を新築移転



OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

78.8%

各種設備工事等の需要回復に伴い、当社の主力製品である金属系あと施工アンカーの販売が堅調に推移したほか、耐震工事等の減少により低迷していた接着系あと施工アンカーの販売が底入れし、土木関連を中心に完成工事高が大幅に増加したことなどから、総じて順調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は12,865百万円(前連結会計年度比8.5%増)、セグメント利益は1,674百万円(同8.3%増)となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類



●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工工具
- 確認試験機



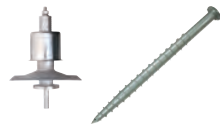
●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー



●工事関連

- 建築関連(耐震補強工事)
- 土木関連(一面耐震補強工事等)
- 太陽光関連



関連性の深いSDGs目標



機能材事業

21.2%

アルコール検知器の販売及び電子基板関連の販売が好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移したほか、FPRシート関連に含まれる二重床や、防水樹脂の材料販売が減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は3,460百万円(同4.9%減)、セグメント利益は412百万円(同7.3%減)となりました。

●FRPシート関連



●各種測定器、電子プリント基板関連



●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等



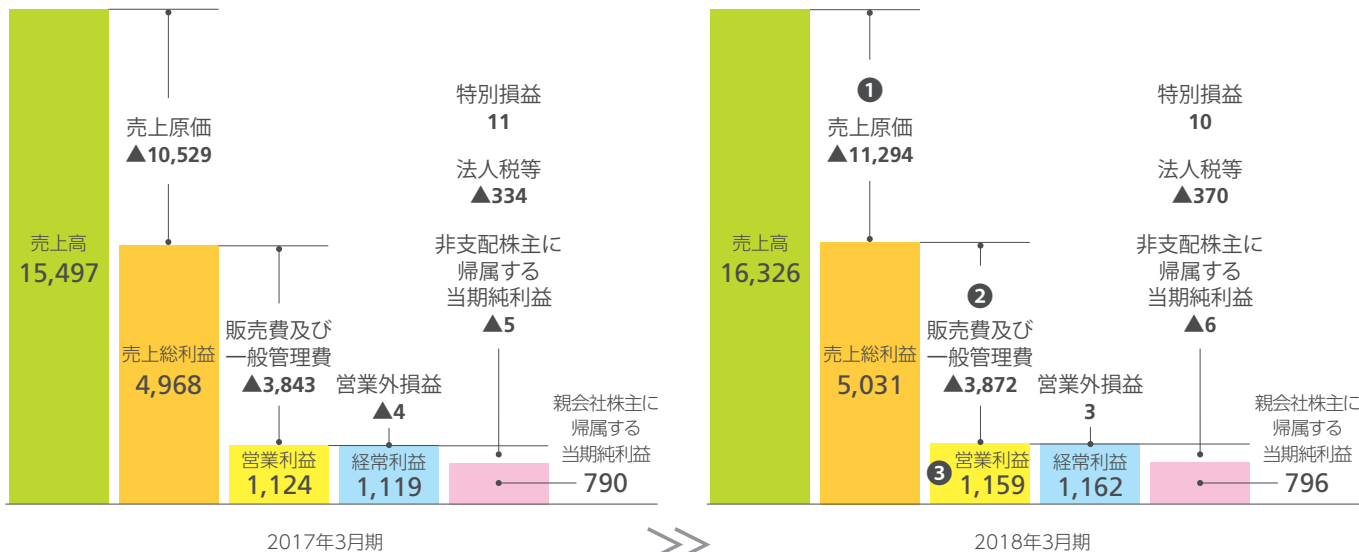
関連性の深いSDGs目標



連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

(単位:百万円)



- ①売上原価率は1.3ポイント増加し、69.2%となりました。
- ②販売費及び一般管理費率は1.1ポイント減少し、23.7%となりました。
- ③これらの結果、営業利益率は0.2ポイント減少し、7.1%となりました。

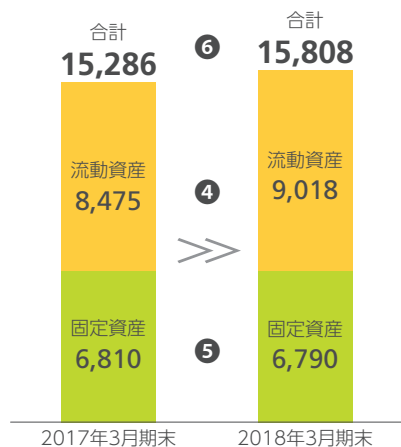
詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、
当社ホームページ「IRライブラリ」の決算短信をご参照ください。

サンコーテクノ ⇒ トップ画面 ⇒ IR情報 ⇒ 決算短信



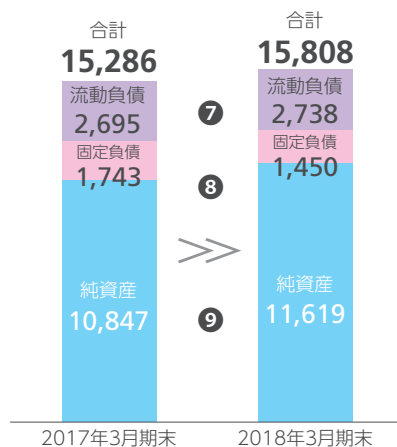
連結貸借対照表の概要

●資産の部



●負債・純資産の部

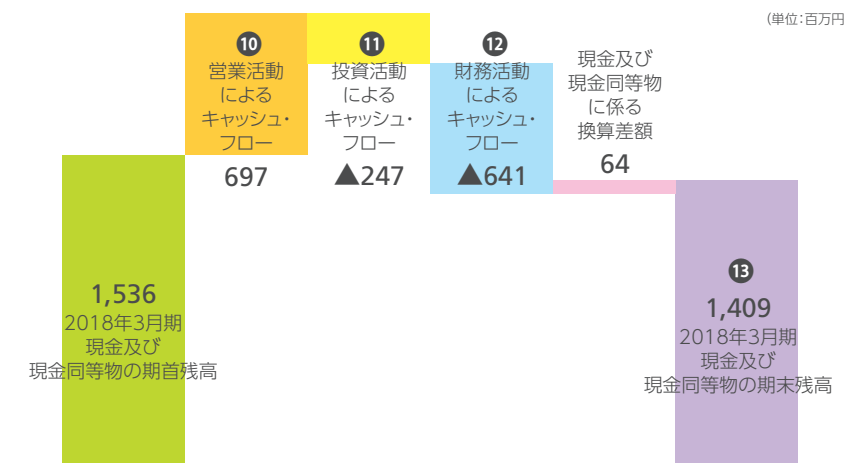
(単位:百万円)



- ④流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により542百万円増加いたしました。
- ⑤固定資産は、建設仮勘定の減少等により20百万円減少いたしました。
- ⑥これらの結果、総資産は521百万円増加いたしました。
- ⑦流動負債は、未払法人税等の増加等により42百万円増加いたしました。
- ⑧固定負債は、長期借入金の減少等により292百万円減少いたしました。
- ⑨純資産は、利益剰余金の増加等により771百万円増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



- ⑩税金等調整前当期純利益等により、資金が増加いたしました。
- ⑪有形固定資産の取得による支出等により、資金が減少いたしました。
- ⑫借入金の返済等により、資金が減少いたしました。
- ⑬これらの結果、現金及び現金同等物は、126百万円減少いたしました。

NETWORK 拠点

54年のあゆみを経て、国内25拠点、海外3拠点からなるサンコーテクノグループネットワークを展開しております。

- 営業拠点
- 製造・開発拠点
- 物流拠点
- 関連会社

国内拠点

- 1 南流山事業所
- 2 札幌支店
- 3 仙台支店
- 4 名古屋支店
- 5 大阪支店
- 6 福岡支店
- 7 新潟営業所
- 8 横浜営業所
- 9 静岡営業所
- 10 金沢営業所
- 11 岡山営業所
- 12 広島営業所
- 13 広島事業所
- 14 高松営業所
- 15 鹿児島営業所
- 16 流山事業所
- 17 野田工場
- 18 奈良工場
- 19 中央物流センター
- 20 西部物流センター
- 21 株式会社IKK
- 22 株式会社スイコー
- 23 アイエスエム・インタナショナル株式会社
- 24 株式会社サンオー
- 25 株式会社イーオプティマイズ

海外拠点

- 26 SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
- 27 SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.
- 28 三幸商事顧問股份有限公司

OFFICERS 役員紹介



代表取締役社長

ほらげ ひでと
洞下 英人 生年月日:1965年8月22日

1997年 7月 当社入社
2003年 4月 執行役員企画本部長
2004年 6月 取締役企画本部長
2009年 4月 取締役経営管理本部長
2010年 4月 取締役副社長
2010年 6月 代表取締役社長(現任)

座右の銘
知行合一
趣味
アウトドア



常務取締役

ほらげ まさと
洞下 正人 生年月日:1962年1月8日

1984年 4月 三幸商事株式会社(現当社)入社
1996年 4月 取締役開発部長
1998年 4月 取締役営業本部長
2005年 4月 取締役新事業推進本部長
2009年 4月 取締役リニューアル事業部長
2013年 4月 常務取締役リニューアル事業
及び技術開発管掌
2016年 4月 常務取締役
2018年 4月 常務取締役 兼 技術研究所所長(現任)

座右の銘
諸行無常
趣味
ゴルフ、スキー



社外取締役(常勤監査等委員)

まつおか しょういち
松岡 省一 生年月日:1949年1月12日

1971年 4月 株式会社守谷商会入社
2009年 1月 守谷鋼機株式会社入社
2009年 2月 同社代表取締役社長
2015年 6月 当社常勤監査役
2016年 6月 社外取締役(常勤監査等委員)(現任)

座右の銘
天爵を修めて、人爵之に従う
趣味
読書、音楽鑑賞(THE BEATLES)、
絵画鑑賞(葛飾北斎)



社外取締役(常勤監査等委員)

いわき たつお
岩城 龍夫 生年月日:1953年11月13日

1977年 4月 会計検査院採用
1999年12月 会計検査院 第1局外務検査課副長
2007年 4月 同 第3局国土交通検査第2課総括副長
2010年 4月 同 第3局国土交通検査第2課総括調査官
2014年 4月 内閣府大臣官房公益法人行政担当室 兼
公益認定等委員会事務局政策企画調査官
2018年 6月 社外取締役(常勤監査等委員)(新任)

座右の銘
時時勤拵拭
(じじにつとめてぶっしきせよ)
趣味
茶道(表千家)



常務取締役

はちや つよし
八谷 剛 生年月日:1957年9月7日

- 1984年 4月 三幸商事株式会社(現当社)入社
- 1990年 4月 札幌営業所長
- 2010年 4月 常務取締役ファスニング事業及びセンサー事業担当
- 2013年 4月 常務取締役センサー事業管掌
- 2015年 4月 常務取締役機能材事業管掌
- 2016年 4月 常務取締役(現任)

座右の銘
元気が一番
趣味
ゴルフ



社外取締役(監査等委員)

さとう おさむ
佐藤 靖 生年月日:1960年1月23日

- 2000年 6月 石原機械工業株式会社(現株式会社KK)取締役
- 2005年 6月 当社社外取締役
- 2018年 6月 社外取締役(監査等委員)(新任)

座右の銘
和顔愛語
趣味
週末の日本酒

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	8,745,408株
株主総数	2,835名
単元株主数	1,834名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	1,156	14.19
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.84
有限会社サンワールド	680	8.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	378	4.64
サンコーテクノ社員持株会	348	4.27
新井 栄	262	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	231	2.84
洞下 照夫	215	2.64
株式会社みずほ銀行	178	2.19
佐藤 静男	166	2.05

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。 2.当社は自己株式(593千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様に対する積極的な情報提供とコミュニケーションを心掛け、皆様のご意見を今後の様々な活動に反映してまいりたいと考えております。その一環として、今回の株主通信に株主様アンケートを同封させていただきました。大変お手数ではございますが、アンケートにご協力いただければ幸いです。

アンケート締め切り:2018年10月31日まで(消印有効)

INFORMATION

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	301名(連結559名)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 リそな銀行 千葉銀行 三井住友銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社
持分法適用 関連会社	株式会社サンオー
持分法非適用 関連会社	株式会社イーオプティマイズ

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別 口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をする事ができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券:本店および全国各支店、プラネットプース (みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行:本店および全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続 お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。